

生野区 防災マップ

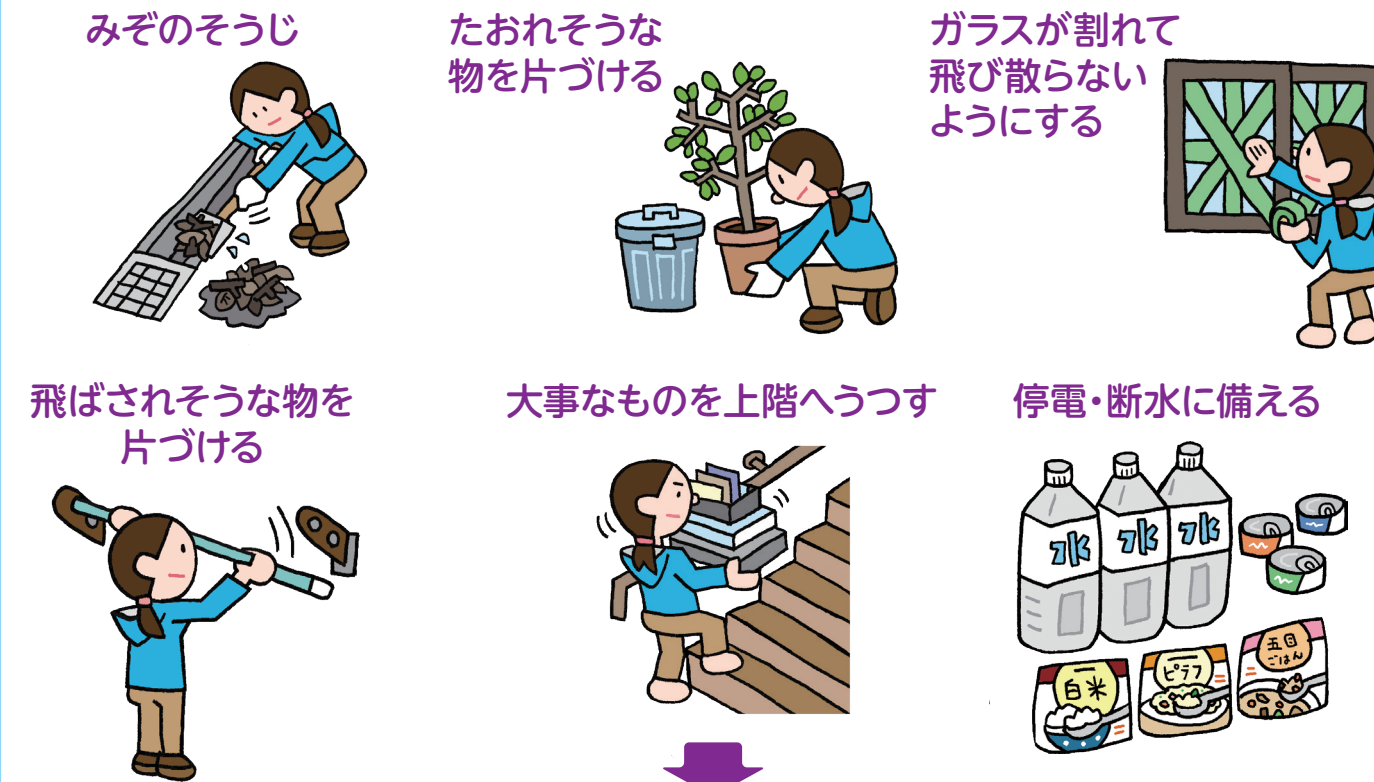
2025年3月版



編集/発行: 生野区役所 地域まちづくり課

大雨・台風の予報がでたら 雨や台風の多い季節は、事前の備えで安全確保しよう。

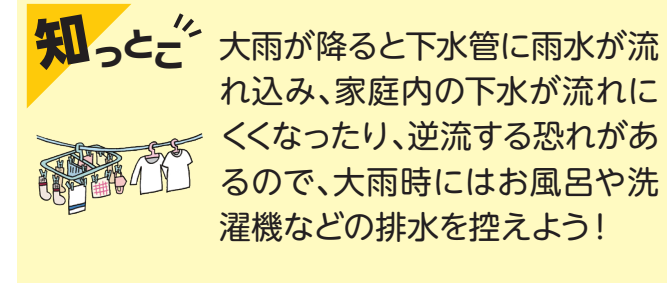
早めにできること



急いでやること



気象庁から、前線による大雨の予報や台風の進路など、詳細な情報が発信されます。
雨が降り出す前にできること、やっておくべきことを知り、被害のないよう対策をおこし！



グラッ地震だ！ 自分の身体と命を守る事が最優先！

机やテーブルの下にもぐり、しっかり身を守る

机がない場合は、①②③等をしてケガを防ごう。



揺れが収まったら、情報をとる

テレビ・ラジオ・スマートフォンなどで「何が起こったのか」「このあと余震はあるのか」など情報をとろう。

家族の無事を確認

大規模な災害時は、一般電話の通話制限される。家族や友人との連絡方法を決めておこう。

自宅の被害を確認

自宅は住み続けられるのか、すぐに避難が必要な状態なのかを確認。

避難するかしないか、判断

自宅が無事なら「自宅避難」、住めない状況ならば「避難所」や「知人や親戚宅」へ。

自宅避難

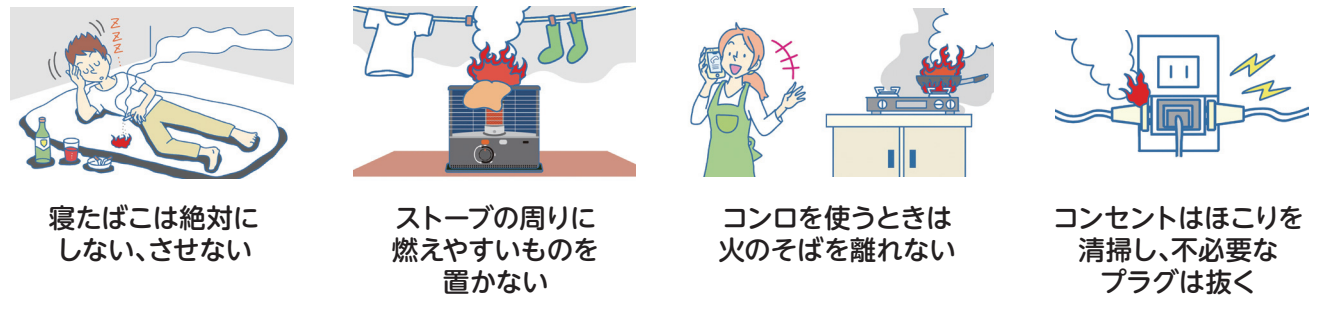
「避難所」や「知人や親戚宅」へ

災害伝言ダイヤル
171
「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって伝言を録音・再生ができるサービス。災害時に活用できる連絡方法のひとつ。

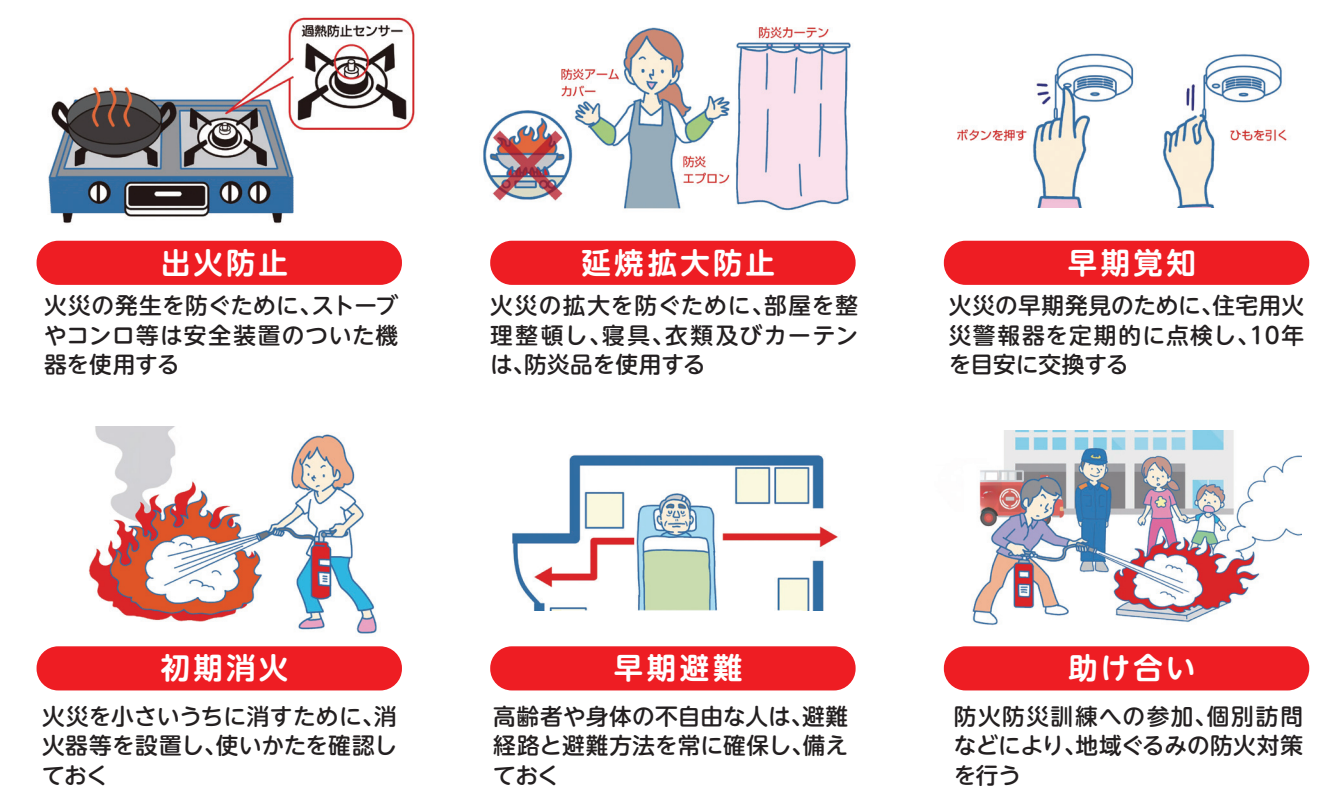
家を出る時に
ガスの元栓
ブレーカー
OFF
OFF
を確認しよう

火災からいのちを守る

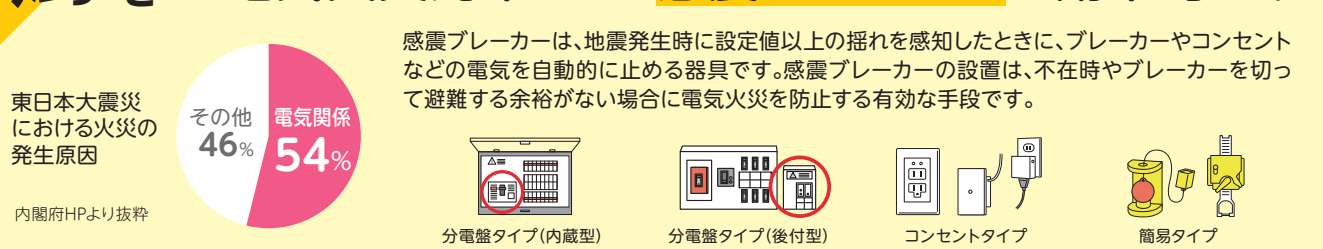
4つの習慣 火災の発生を防ぐために、次の4つの習慣を守ろう



6つの習慣 万一火災が発生しても、被害をおさえ命を守るために、日ごろから次の6つの対策をしよう



知って 電気火災対策には、感震ブレーカーが効果的です

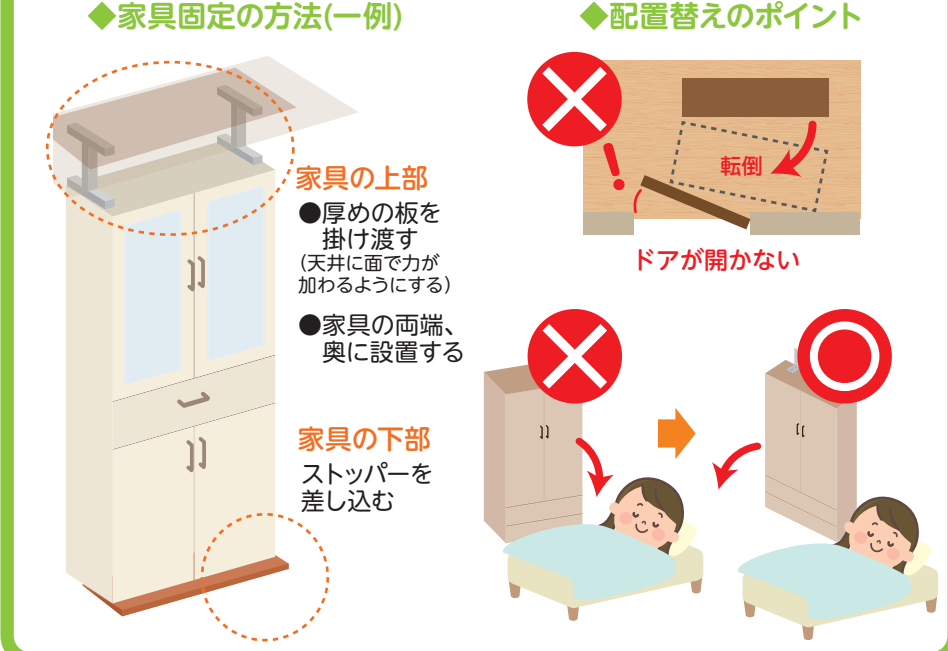


災害に負けない“そなえ”をしよう

災害はいつ起こるかわかりません。家や街が壊れ、電気やガス、水など生活に必要なものが手に入らなくなります。自分と家族の命を守り、命をつなぐために、今できる“そなえ”を進めよう。

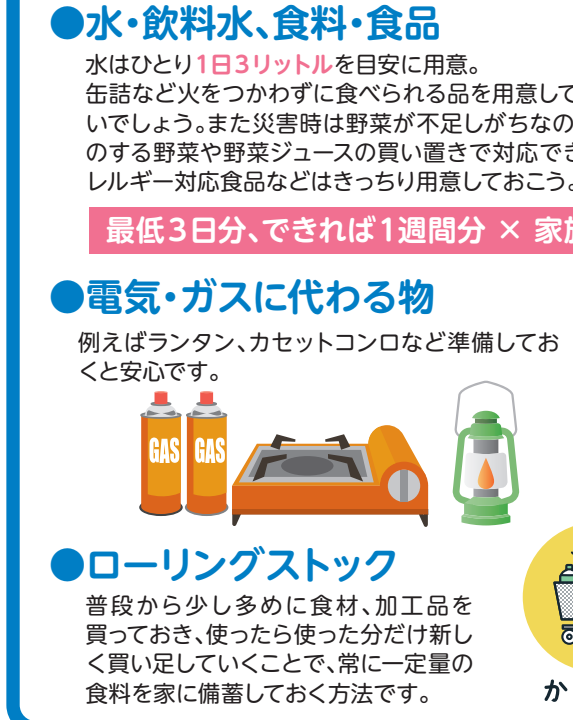
命をまもるそなえ 家具固定・配置替え

近年発生している大きな地震でのケガの原因は、30-50%が「家具類の転倒・落下による」と言われています。自分の身を守るため、安全を確保するため、家具類の固定や配置の見直しをしよう。



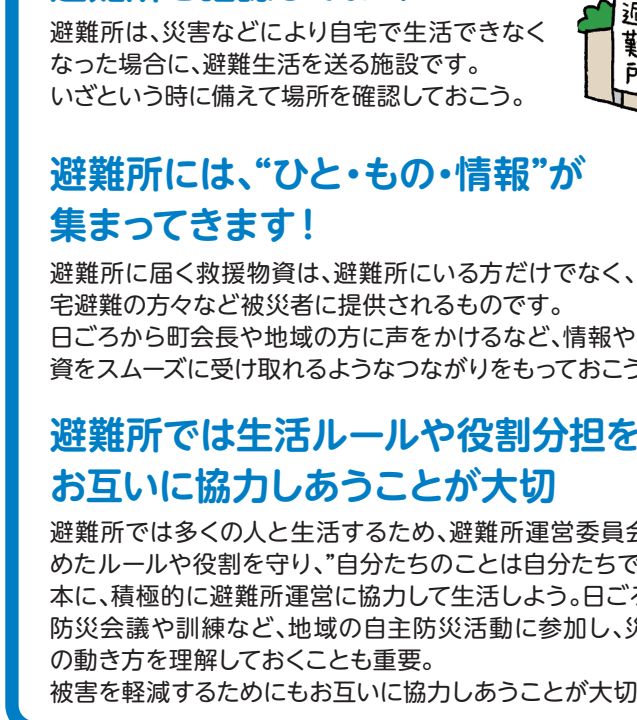
命をつなぐそなえ 備蓄物資

地震により、電気やガス、水道など復旧までに1週間以上要すると考えられます。どう過ごすかを考えておこう。



命をつなぐそなえ 地域とつながる

あなたのお住いのエリアの避難所を確認しておく！



命をまもるそなえ トイレの使い方

災害時トイレの新常識！
地震の後にすぐにはトイレは流さない

たとえ水が流れたとしても、見えないところで汚水管がずれていたりヒビがはいってれば、たちまち家の中に汚水が流れ出たり、トイレから逆流したりするので気をつけよう！
災害時であってもトイレを我慢するのは無理なので、右のステップ1からステップ4の方法でトイレを使う。

トイレで使う備品の用意もわすれず！



被災地の避難所でのトイレ



もしもの為に、今始めよう / 大阪防災アプリ 大阪防災



大阪防災アプリにはこんな機能も！

